

長井暁著『NHKは誰のものか』出版記念シンポジウム



ジャーナリズムが 生き残るために

当事者が問うメディアと安倍政治

9月14日(土) 14:00-17:30

(開場:13:30)

中央大学茗荷谷キャンパス 2F 2E08教室

文京区大塚1丁目4-1(丸の内線茗荷谷駅すぐ)

定員:120人

資料代:500円(当日お支払ください)

お申し込み:QRコードからお申し込みください。

基調講演 長井暁(元NHK-ETV2001番組担当デスク)

報告 宮崎知己(元朝日新聞「吉田調書」報道担当記者)

コメント 大森淳郎(『ラジオと戦争』著者)

金平茂紀(ジャーナリスト)

白石草(OurPlanet-TV)

司会 七沢潔(中央大学法学部客員教授)

メディア支配の欲望を隠そうとしなかった政治家・安倍晋三
従軍慰安婦問題に迫ったNHK-ETV2001の番組改変に始まり、
原発再稼働を前にして起こった2014年の朝日新聞「吉田調書」記事取り消し事件
「政治的公平」を掲げて総務相が電波の停止まで踏み込んで発言、
恫喝された民放が政権に批判的なキャスターを次々と降板させた2016年…
安倍政治の20年でメディアはすっかり牙を抜かれた
その政治圧力で転倒し崩壊した組織では優秀なジャーナリストたちが
不当に処分され、退職に追い込まれた。

心に傷を抱えながら、彼らはこれまで固く口を閉ざしてきた。
だが、10年、20年という歳月を超えて、いま語り記し始めた。

ETV2001事件の当事者・長井暁氏の著作

『NHKは誰のものか』の出版を機に集い、
この国のメディアにジャーナリズムの再生はあるのか、
それはどうやって叶えるのか
答えの見えない問いに立ち向かう。



主催:中央大学法学部ジャーナリズム研究会

共催:日本ジャーナリスト会議

メディア総合研究所、地平社

放送を語る会、OurPlanet-TV

後援:日本ペンクラブ

お問合せ:knanasawa001t@g.chuo-u.ac.jp(七沢)



長井暁(ながいさとる)

1987年ディレクターとしてNHK入局。NHKスペシャル「朝鮮戦争」「張学良がいま語る」「周恩来の選択」「街道をゆく」などの制作に携わる。2005年1月にETV2001「戦争をどう裁くか」が政治圧力によって改変されたことを告発。その後NHK放送文化研究所に異動。2009年にNHKを退職後は、多くの大学で教鞭をとりながらメディア問題について発言し続けている。著書に『NHKは誰のものか』(地平社)など。



宮崎知己(みやざきともみ)

1964年大阪府生まれ、神戸大経済学部を卒業し住友銀行を経て1990年朝日新聞社に入る。水戸、青森支局時代から調査報道に携わる。経済部ではトヨタ自動車トップ人事など特ダネを執筆。特別報道部で偽装請負や福島原発事故の報道に当たる。朝日新聞社が記事全文取り消しを決定した「吉田調書報道」で減給処分を受け、2016年3月に朝日を退社。月刊『FACTA』編集人を経てフリージャーナリストに。



大森淳郎(おおもりじゅんろう)

1957年埼玉県生まれ。1982年NHK入局。主にETV特集を手掛ける。2016年に放送現場を退き、NHK放送文化研究所に勤務。2022年退職。著書に『BC級戦犯 獄窓からの声』(日本放送出版協会、2009年)、『ホットスポット ネットワークでつくる放射能汚染地図』(講談社、2012年)、『ラジオと戦争 放送人たちの「報国」』(NHK出版、2023年)。全て共著。



金平茂紀(かねひらしげのり)

1953年北海道生まれ。1977年TBS入社。モスクワ支局長、モスクワ支局長、ワシントン支局長、筑紫哲也NEWS23編集長、報道局長などを歴任。2016年高市早苗総務大臣の「停波発言」にキャスター連名で抗議。また同社元社員・山口敬之氏への会社側の対応を批判。現在TBS「報道特集」特任キャスター。著書に『沖縄ワジワジー通信』(七つ森書館)ほか多数。



白石草(しらいしはじめ)

大学卒業後、放送局勤務などを経て2001年、非営利の独立ネットメディアOurPlanet-TVを設立。311後、福島第一原発事故に関する報道で、放送ウーマン賞、JCJ賞を受賞。『東電テレビ会議49時間の記録』で科学ジャーナリスト大賞を受賞。著書に『メディアをつくる～「小さな声」を伝えるために』『ルポ チェルノブイリ28年目の子どもたち』(以上、岩波ブックレット)ほか。



七沢潔(ななさわきよし)

1957年静岡県生まれ。1981年NHK入局。主に原発に関するドキュメンタリー番組を制作。主な作品に「原発立地はこうして進む～奥能登土地攻防戦」「ネットワークでつくる放射能汚染地図～福島原発事故から2ヶ月」など。放送文化研究所を経て2022年に退職。現在中央大学の教員。著書に『原発事故を問う』(岩波新書)、『テレビと原発報道の60年』(彩流社)など。

中央大学茗荷谷キャンパス

東京都文京区大塚1丁目4-1

メトロ丸の内線茗荷谷駅下車1分

